

令和7年度第4回鮫川村地域公共交通協議会

日時：令和8年2月20日（金）

15:00～

場所：鮫川村公民館・大集会室

進行：室長

《 次 第 》

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 議 事
 - 報告第1号 令和7年度デマンド交通の運行実績について
 - 報告第2号 令和8年度宝木経由鮫川線の運行について
 - 議案第1号 令和7年度収支決算の見込について
 - 議案第2号 令和8年度事業計画及び予算について（案）
4. その他
 - ・次回開催について 令和8年4月以降
5. 閉 会

令和7年度 鮫川村地域公共交通協議会委員名簿

	所属	職名	氏名	選出区分
1	鮫川村	副村長	板垣 良夫	鮫川村長またはその指名する者
2	福島交通株式会社石川営業所	所長	本柳 靖二	一般乗合旅客自動車運送事業者
3	公益社団法人福島県バス協会	専務理事	宍戸 紳一郎	一般旅客自動車運送事業者の組織する団体
4	一般社団法人福島県タクシー協会	県南支部長	鈴木 創一	一般旅客自動車運送事業者の組織する団体
5	東北運輸局福島運輸支局	企画調整部門首席運輸企画専門官	日脇 渚彩	福島運輸支局長またはその指名する者
6	福島県県南地方振興局	県民環境部副部長兼県民生活課長	伊澤 由美子	福島県の行政機関の職員（都道府県）
7	棚倉警察署	地域交通課長	小野寺 洋佑	福島県の行政機関の職員（都道府県警察）
8	国土交通省東北地方整備局郡山国道事務所	調査課長	松山 智	福島県の行政機関の職員（道路管理者）
9	福島県棚倉土木事務所	所長	佐藤 和志	福島県の行政機関の職員（道路管理者）
10	私鉄福島交通労働組合棚倉分会	会長	高橋 政廣	一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者
11	鮫川運送㈱	社長	芳賀 篤徳	鮫川村長またはその指名する者
12	鮫川村商工会	会長	古舘 勝人	鮫川村長またはその指名する者
13	鮫川村商工会	女性部長	本郷 まさ子	鮫川村長またはその指名する者
14	社会福祉協議会	事務局長	舟木 正博	鮫川村長またはその指名する者
15	地域包括支援センター	ケアマネジャー	藤元 良子	鮫川村長またはその指名する者
16	鮫川村区長会	赤坂西野区長	舟木 勝弥	住民または利用者の代表
17	鮫川村老人クラブ連合会	会長	前田 三郎	住民または利用者の代表
18	福島県修明高等学校	校長	阿部 拓広	住民または利用者の代表
19	学校法人石川高等学校	教頭	矢吹 靖弘	住民または利用者の代表
20	社会福祉法人鮫川福祉会鮫川たんぼの家	施設長	江尻 勝巳	住民または利用者の代表
21	鮫川村連合PTA	会長	目黒 信一	住民または利用者の代表
22	鮫川村連合PTA	副会長	円谷 政幸	住民または利用者の代表

事務局

村づくり推進室長	事務局員	船木 博枝
村づくり推進室村づくり推進係長	事務局員	水野 克哉
村づくり推進室村づくり推進係主任主事	事務局員	佐藤 雄大
村づくり推進室村づくり推進係主事	事務局員	鈴木 楓花

令和7年度デマンド交通の運行実績について

1 デマンド交通の概要

(1) 運行期間

①実証運行：令和5年11月14日～令和7年9月30日

※令和6年9月1日～令和7年2月28日：共創・Maas 実証プロジェクト事業活用

②本格運行：令和7年10月～

(2) 運行時間

8時～16時

(3) 運行日

月～土（運休日：日、祝、12月29日～1月3日）

(4) 運行地域

- ・村内全域
- ・塙町の一部（塙厚生病院、磐城塙駅）
- ・棚倉町の一部（ヨークベニマル棚倉店、磐城棚倉駅）

(5) 運賃

①実証運行

	村内在住	村外在住
19歳～69歳	400円	1,500円
6歳～18歳	200円	800円
70歳以上	200円	800円
障がい者	200円	400円（6歳～18歳）
		800円（19歳～69歳）

②本格運行

		一般	障がい者
村内居住者	村内間の移動	一律200円	
	村外を含む移動	一律400円	
村外居住者	村内間の移動	800円	400円
	村外を含む移動	1,500円	800円

2 利用登録者数の推移

(1) 令和7年度月別利用登録者 (R7.4~R8.1)



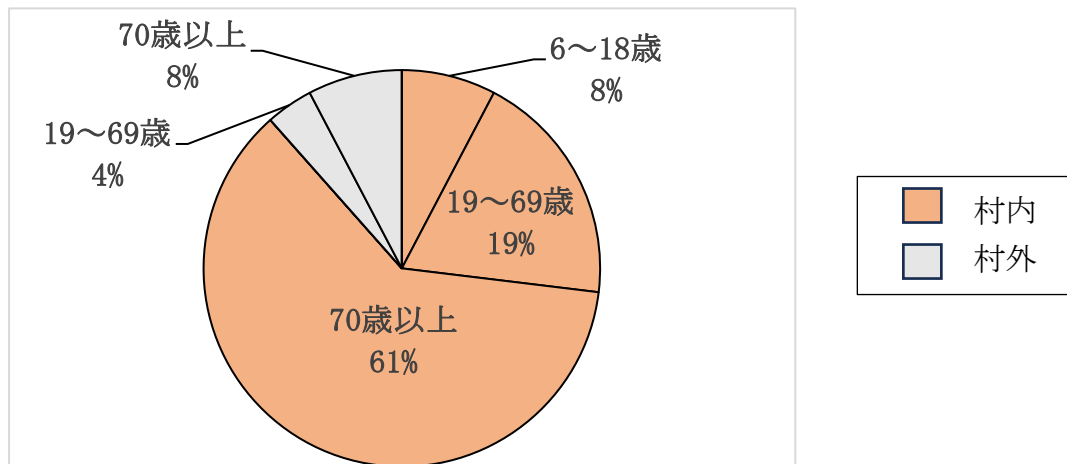
- ・令和7年度の利用登録者数は26人。5月、8月の利用登録者数は0人。
- ・利用登録者のいない月があったのは、初めてであり、その他の月についても5人以下である。

(2) 年度別利用登録者 (単位:人)



- ・総利用登録者数は273人。
- ・令和5年度以降、利用登録者数は減少傾向にあり、令和7年度においては新規の利用登録が大きく減少している。

(3) 年齢別の割合 (R7.4~R8.1)



【村内】(全体の88%)

①70歳以上 (61%) ②19~69歳 (19%) ③6~18歳 (8%)

※障がい者、その他については登録なし

【村外】(全体の12%)

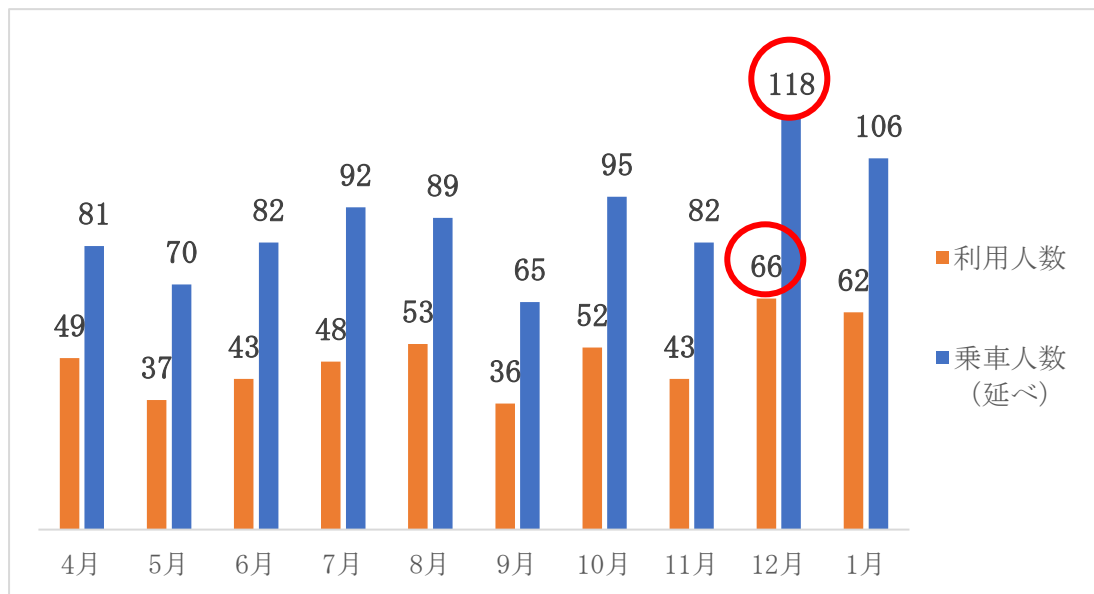
①70歳以上 (8%) ②19~69歳 (4%)

※6~18歳、障がい者、その他については登録なし

3 運行状況及び乗車人数 (R7.4~R8.1)

(1) 運行日数：245 日

(2) 乗車人数：延べ 880 人



(3) 1日あたりの乗車人数：約 3.6 人

(4) 状況

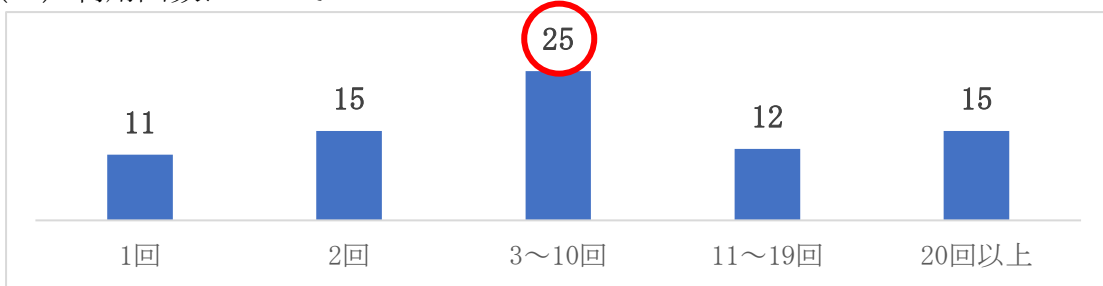
- ・利用人数及び乗車人数（延べ）において、12 月が最も多く、最も少ないのは 9 月である。
- ・例年、冬期間は運行回数が減少する傾向にあったが、今年度は利用者数が増加している。冬季の路面凍結等による運転への不安から、デマンド交通を利用しているとの声も聞かれている。
- ・10 月から利用料金を改定したが、利用者の減少は見られず、その後も比較的安定した利用状況が続いている。

※補足

- ・運行日数 245 日のうち、利用者のいない日は 36 日であった。特に土曜日は 13 日間と多く、土曜日における利用が少ない傾向が見られる。

4 利用者の傾向 (R7.4~R8.1)

(1) 利用回数について

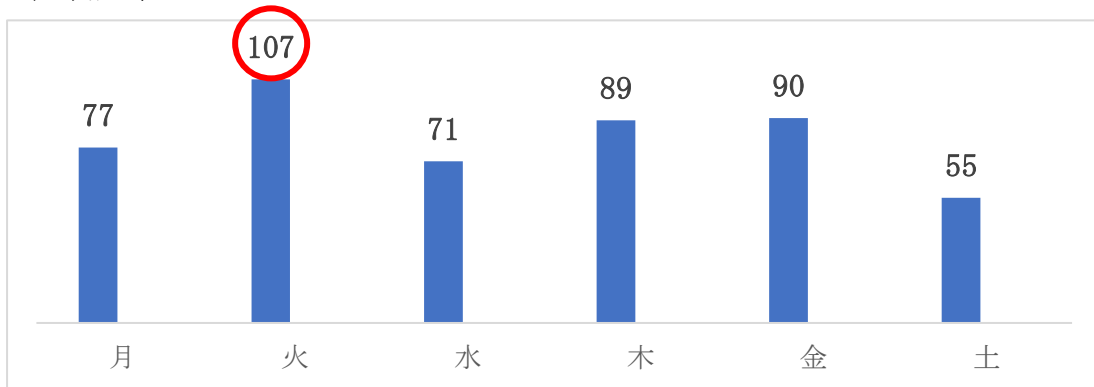


- ・利用登録者 273 人のうち、実利用人数は 78 人であり、約 29%が利用した。
- ・往復（2回）以上の利用が 8 割以上である。

※補足

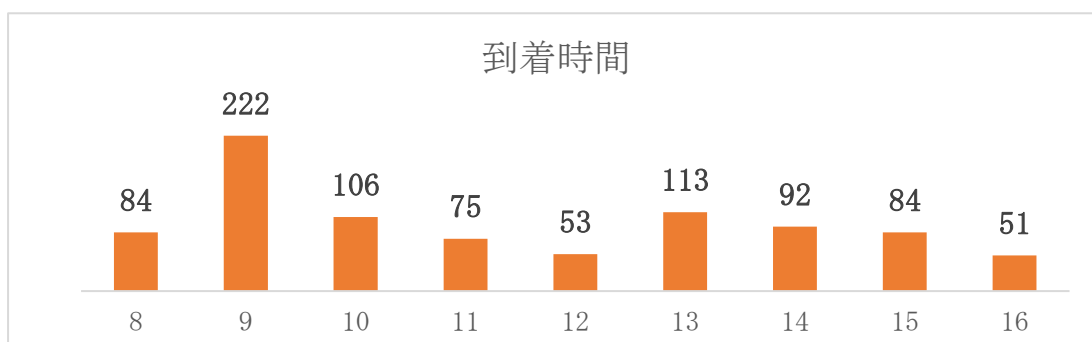
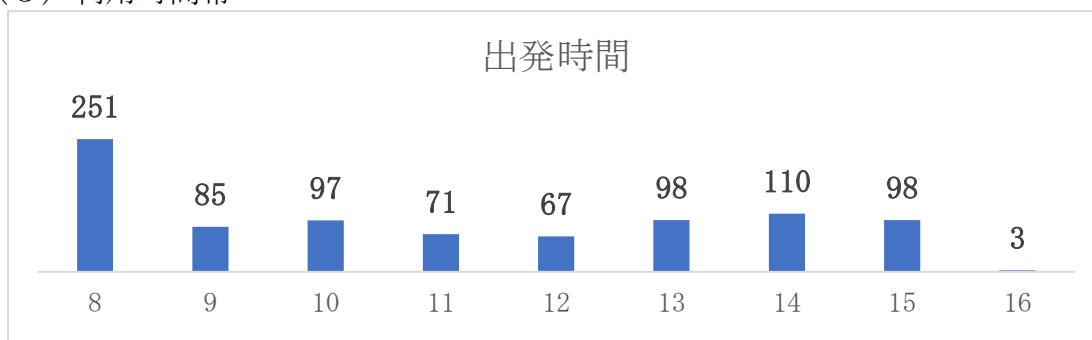
個人で最も多い利用回数は 104 回であり、主な利用目的としては埴厚生病院への通院である。

(2) 利用曜日について



- ・最も利用の多い曜日は火曜日であり、これまで利用が少なかったが、今年度は利用が多くあった。次いで、木曜日・金曜日が多い。
- ・最も利用の少ない曜日は土曜日である。次いで、水曜日・月曜日となっている。
- ・利用人数には曜日ごとにばらつきがあるものの、いずれの曜日においても一定の利用が見られる。

(3) 利用時間帯



《出発時間》

- ・最も多く利用される時間帯は8時台であり、主に埴厚生病院への通院目的で利用されている。9時前に同病院へ到着することを希望する利用者が多いものと考えられる。
- ・その後、日中の利用は減少傾向にあるが、帰宅時間帯における利用は13時から15時にかけて分散している。

《到着時間》

- ・最も多く利用される時間帯は、9時台であり、8時台に乗車した方が多いことから増加していることがわかる。
- ・比較的利用が分散しているが、11時～12時の時間帯での利用は減少している。

(4) 利用場所について



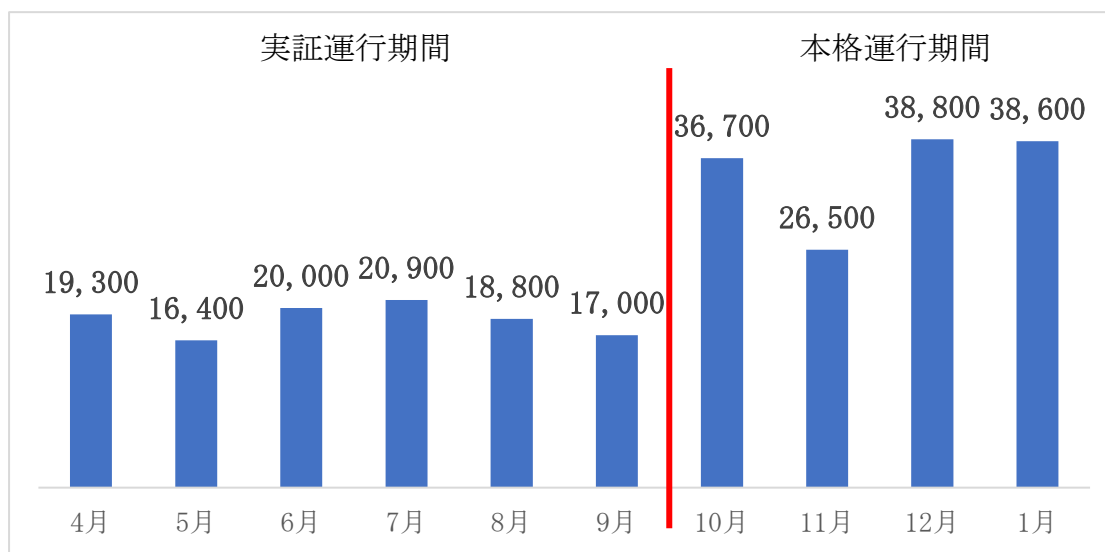
- ・主な利用目的地としては「埴厚生病院」が多い。
- ・棚倉町への乗り入れについて、ヨークベニマルの利用があったが、利用実績としては少ないため、さらに促進していく必要がある。
- ・村内については、その他村内施設が多く、役場やさざり荘等の利用も増えている。村内の周遊率が徐々に向上しつつある。

○保健センターにはさめがわ歯科医院、診療所の利用を含む。

○その他村内施設…各地区の集会所等や各理美容院等を含む。

○その他…高齢者住宅に居住している方が実家の手入れのために帰省しているもの

5 運賃収入の推移



- ・本格運行後、料金改定に伴い運賃収入は増加している。料金改定後の利用者数の減少が懸念されたが、現在のところ、概ね安定した運行が継続できている。

6 総括

- ・本格運行開始時には、運賃改正に伴う利用者離れが懸念されていたが、利用状況に大きな影響は見られず、安定した運行が確保されている。また、運賃改正に対する利用者からの不満等は、現時点では特段聞かれていない。
- ・デマンド交通は定着しつつある一方で、利用者の多い日や直前予約が集中した場合には、予約時間から多少の遅れが生じることがある。また、季節や気温の影響によっては、待ち時間中の利用環境に影響が出る場合もある。このため、遅延が生じる際の連絡方法等を含め、運行時の環境整備が重要である。
- ・新規の利用登録者数は大幅に減少している。これは、一定数の利用者が既に定着していることによる影響も考えられるが、今後の利用拡大を図るためには、引き続き周知の徹底が必要である。
- ・利用方法については、住民からの問い合わせがあるほか、運転手からも情報の再発信を求める声が寄せられている。このため、「鮫川村ふるさとの四季カレンダー」への記載や広報紙等での定期的な情報発信を行い、情報の周知・拡散を図るとともに、筋力づくり教室や各種サロン、公民館事業の機会を活用した広報活動についても検討していく。
- ・運行状況について、一定数情報が集まっている。利用者の利用環境の改善や運転手への負担等も考慮し、運行体制の見直しを図る。

令和8年度宝木経由鮫川線の運行について

1 これまでの経緯

- ・利用者の減少や村負担金の増額を踏まえ、今後の運行の在り方について検討が必要な状況となったことから、令和7年4月23日に開催した第1回鮫川村地域公共交通協議会において、よりよい運行形態を検討していく方向性を提案し、当該方針について了承を得たため、関係者との協議を進めてきたものである。
- ・協議の内容については、次のとおり。

令和7年5月27日

出席者：福島交通株式会社、石川町企画商工課、鮫川村

【鮫川村】

- ・利用者の少ない便について、平日13:50石川町発、18:30石川町発は廃止としたい。
- ・減便やダイヤ改正を行い、運行を縮小していく意向。

【石川町】

- ・村がやめるものに関しては、石川町もやめる考え。

【福島交通株式会社】

- ・どちらかの市町村のみ運行することは、対応としては可能だが、従業員の負担が減るわけではないため、出来る限り合わせてほしい。
- ・最新の実績を提供する。

令和7年7月22日

出席者：福島交通株式会社、石川町企画商工課、鮫川村

【鮫川村】

- ・最新の実績を基に、庁内で検討し、18:30石川町発の廃止、土日祝全便の廃止を提案。

【石川町】

- ・実績報告は確認したが、実際の検証ができていないため、決定は難しい。
- ・減便対象路線について、人数は少ないが若干の利用があるため、人物像等を洗い出す必要がある。
- ・山橋地区を運行している路線について、令和6年度に廃線としたため、宝木経由鮫川線のみ運行となることから、廃線は厳しい。

【福島交通株式会社】

- ・負担金の試算を提示したが、あくまでも試算である。人件費の高騰や運賃改正もあることから、試算通りにならないことが想定される。
- ・土日祝を廃止とした場合の代替えを検討。

令和7年11月14日

出席者：石川町企画商工課、鮫川村

【鮫川村】

- ・これまでの協議会の結果を含め、再度同様の案を提示。石川町の意向確認を行う。

【石川町】

- ・通学、通勤の便に関して、無くさない。廃止ではなく、乗り継ぎ等のアクセスを改善してはどうか。
- ・町長の意向により、一度廃線にすると戻せないことから、安易に無くすことはできない。

【合意内容】

- ・石川町の要望を踏まえ、廃線は難しいため、ダイヤ改正など運行内容の一部変更にて利便性の向上を図るため、今後も協議を行うこととした。

※改正の具体例

土日祝日のダイヤについて、現在往復にて2便運行しているが、鮫川村及び石川町双方で使いにくい時間帯である。

より利用者の拡大ができるダイヤへの改正を予定。

2 令和8年度の運行について

- ・福島交通株式会社への宝木経由鮫川線に係る負担金については、令和7年度支出分から特別交付税を充当している。
- ・令和8年度の運行についても、同様に特別交付税を充当し、鮫川村一般財源への負担軽減が図られるよう調整している。
- ・今後の運行については、利用状況や実態を見極めながら、利用しやすい運行体制への見直しを図るとともに、利用者獲得に向け、広報活動の強化にも取り組んでいく。

令和 7 年度鮫川村地域公共交通協議会収支決算の見込について

収入総額 575,431 円

支出総額 417,302 円

差引残額 158,129 円

1 収入の部

単位：円

款	項	目	当初予算額	補正額	現予算額	決算額（見込）	収入欠損額	説明
1 分担金及び負担金	1 負担金	1 負担金	300,000	0	300,000	300,000	0	村負担金
2 国及び県補助金	1 国及び県補助金	1 国及び県補助金	0	0	0	0	0	
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	274,858	0	274,858	274,858	0	令和 6 年度繰越金
4 諸収入	1 雑入	1 雑入	142	431	573	573	0	預金利子 573 円
計			575,000	431	575,431	575,431	0	

2 支出の部

単位：円

款	項	目	当初予算額	補正予算額	現予算額	決算額（見込）	残額	説明
1 総務費	1 総務管理費	1 会議費	210,000	0	210,000	117,660	92,340	委員謝金 3,000 円×39 人=117,000 円 振込手数料 660 円×1 人=660 円
		2 事務費	80,000	0	80,000	24,784	55,216	コピー用紙 2,398 円×10 箱=23,980 円 返信用切手 26 円×14 枚=364 円 110 円×4 枚=440 円
2 事業費	1 事業費	1 事業費	0	0	0	0	0	
3 償還金	1 償還金	1 償還金	274,858	0	274,858	274,858	0	村への償還金 274,858 円
4 予備費	1 予備費	1 予備費	10,142	431	10,573	0	10,573	
計			575,000	431	575,431	417,302	158,129	

令和8年度鮫川村地域公共交通協議会事業計画書（案）

日 程	事業内容	備 考
令和8年4月	第1回地域公共交通協議会 事業計画及び予算について 令和7年度デマンド交通運行実績について	委員委嘱
12月	第2回地域公共交通協議会 デマンド交通運行状況について 地域フィーダー系統交付申請及び事業評価について 次年度事業計画及び予算について	

令和8年度鮫川村地域公共交通協議会収支予算（案）

収入総額 358,129円
 支出総額 358,129円
 差引残額 0円

1 収入の部

単位：円

款	項	目	予算額	説明
1 分担金 及び負担金	1 負担金	1 負担金	200,000	村負担金 200,000円
2 国及び県 補助金	1 国及び県 補助金	1 国及び県 補助金	0	
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	158,129	前年度繰越金 158,129円
4 諸収入	1 雑入	1 雑入	0	
計			358,129	

2 支出の部

単位：円

款	項	目	予算額	説明
1 総務費	1 総務管理費	1 会議費	117,000	委員謝金 3,000円×13人×3回=117,000円
		2 事務費	60,000	コピー用紙 等
2 事業費	1 事業費	1 事業費	0	
3 償還金	1 償還金	1 償還金	158,129	村への償還金 158,129円
4 予備費	1 予備費	1 予備費	23,000	
計			358,129	